

科目名	卒業研究ゼミ2 (卒業必修)			
授業形態	演習	学年	2	
開講時期	2022年度 前期～後期	単位数	2	
担当教員	柴崎 恭秀			
内容および計画	各自が設定したテーマをもとに以下のフローで卒業研究を進める。 研究計画書(研究概要・目的、レジュメ、スケジュール、作品の絵コンテなど)提出 ↓ 審査→合格 →St.2 →不合格→テーマを提示→St.2			
1	調査研究作業(文献調査、ヒアリング・アンケート調査、フィールドワークなど)			
2	文献調査研究作業等			
3	文献調査研究作業等			
4	文献調査研究作業等			
5	文献調査研究作業等			
6	ヒアリング・アンケート作成作業等			
7	ヒアリング・アンケート作成作業等			
8	フィールドワーク調査作業等			
9	フィールドワーク調査作業等			
10	分析研究作業等			
11	分析研究作業等			
12	中間資料作成等			
13	卒業研究中間発表(第1回)			
14	調査・分析等			
15	卒業研究中間発表資料作成			
16	卒業研究中間発表(第2回)			
17	再調査・再分析等			
18	論文作成作業			
19	論文作成・提出			
20	作品製作・提出			
21	作品製作・提出			
22	全体の手直し・調整			
23	全体の手直し・調整			
24	要旨集資料作成			
25	卒業研究発表会発表準備			
26	卒業研究発表会発表準備			
27	卒業研究発表会			
28	卒業展準備・論文まとめ作業			
29	卒業展準備・論文完成			
30	卒業展出展			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年

適宜資料を配布				
参考書	適宜指示			
成績評価				
評価方法				割合(%)
出席状況(受講・取組態度を含む)				20
各段階での提出内容				20
各段階での提出内容				40
その他(地域での発表・「卒業展」の発表 等)				20
学習到達目標	社会背景に根ざして研究テーマを設定でき、問題提起に対して目的が明確に設定できる。研究のプロセスが的確に進められ、また各段階で軌道修正が行える。また設定した目的を達成して提案が行え、それをプレゼンテーションの場で、或いは展示として表現できる。			
先修条件				
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として20年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。			
その他				